

「立野ダム」実生の森育成プロジェクト始動

～熊本地震からの創造的復旧・復興にむけて～

＜H30まで＞

○立野ダムは、阿蘇くじゅう国立公園内で事業を行っているため、周辺環境や景観に配慮しながら事業を行っています。

○その取り組みの一つとして、工事箇所から採取した樹木の種や幼木を「播種・育苗」し、数年後、法面などの工事へ使用し早期の緑化を図る「立野ダム」^{はしゆ}^{いくびよう}実生の森育成プロジェクトを平成29年11月から始動しています。平成30年10月には2回目の「播種・育苗」を実施しました。



平成29年11月の実施状況



平成30年10月の実施状況

「立野ダム」実生の森育成プロジェクト始動

～熊本地震からの創造的復旧・復興にむけて～

<R1>

- 令和元年度は、イベントの一環として、平成30年に播種^{はしゅ}した種子から発芽した苗の「育苗」^{いくびょう}を実施しました。（播種：種をまくこと、育苗：苗を育てること）
- 今後、法面などの工事へ使用し早期の緑化を図ります。



令和元年11月の実施状況



令和元年11月（土木の日バスツアーと同時実施）

「立野ダム」実生の森育成プロジェクト始動

～熊本地震からの創造的復旧・復興にむけて～

<R2>

- 工事箇所から採取した樹木の種や幼木を播種・育苗した在来種（郷土植物）を工事で発生した切り土のり面に植栽し、早期の植生回復を図るのを目的としています。
- 令和2年11月には、参加者に好きな苗を選んでもらい、プレートにメッセージを書いていた
だき、ダム堤体左岸頂部にプロジェクトで育てた苗を移植をしました。
今後は、移植した苗を定期的にモニタリングしていきます。



ダム堤体左岸頂部のり面に移植



好きな苗を選び（プレートにメッセージを書きました）



植栽箇所の状況



モニタリングによる確認（冬芽）



対岸から見た植生状況